

昆虫を同定してみよう

アメンボ編



生き物の分類上の所属や種名を決定することを同定といいます。今回はキャンパス内の池の水面を泳いでいたこちらのアメンボ科の一種を用いて図鑑や文献をもとに実際に同定を行ってみましょう。

STEP 0 アメンボの同定をする前に

身近で名前こそ有名なアメンボですが、何目の昆虫か知っていますか？そのヒントは口器に隠されています。



アメンボの口器です。水面に落ちてきた小昆虫などの体液を吸うために針状で突き刺せるようになっています。この口器、どこかで見覚えがありませんか？

そう、カメムシです！！



ヨコヅナサシガメの口器



ミズカマキリの口器

植物の汁を吸うものから他の昆虫の体液を吸うものまで食性は様々ですが、針状の口器はカメムシ目の昆虫に共通の特徴です。アメンボやタガメ、ミズカマキリなどといった水上や水中で暮らすことに特化したカメムシ目は**水生カメムシ類**と呼ばれます。つまり、我々が普段アメンボと呼んでいる昆虫は**カメムシ目アメンボ科**の昆虫ということになります。次ページからは実際に同定を行っていきましょう！

昆虫を同定してみよう

アメンボ編

STEP1 亜科を決定する

中島ら（2020）を参考に亜科を決定していきます。日本からはアメンボ亜科、ウミアメンボ亜科、トガリアメンボ亜科の3亜科が知られていますが、採集した本種は腹部が顕著に棒状に伸びていないこと、そして体型が明らかに丸くないことから、**アメンボ亜科**で間違いないでしょう。

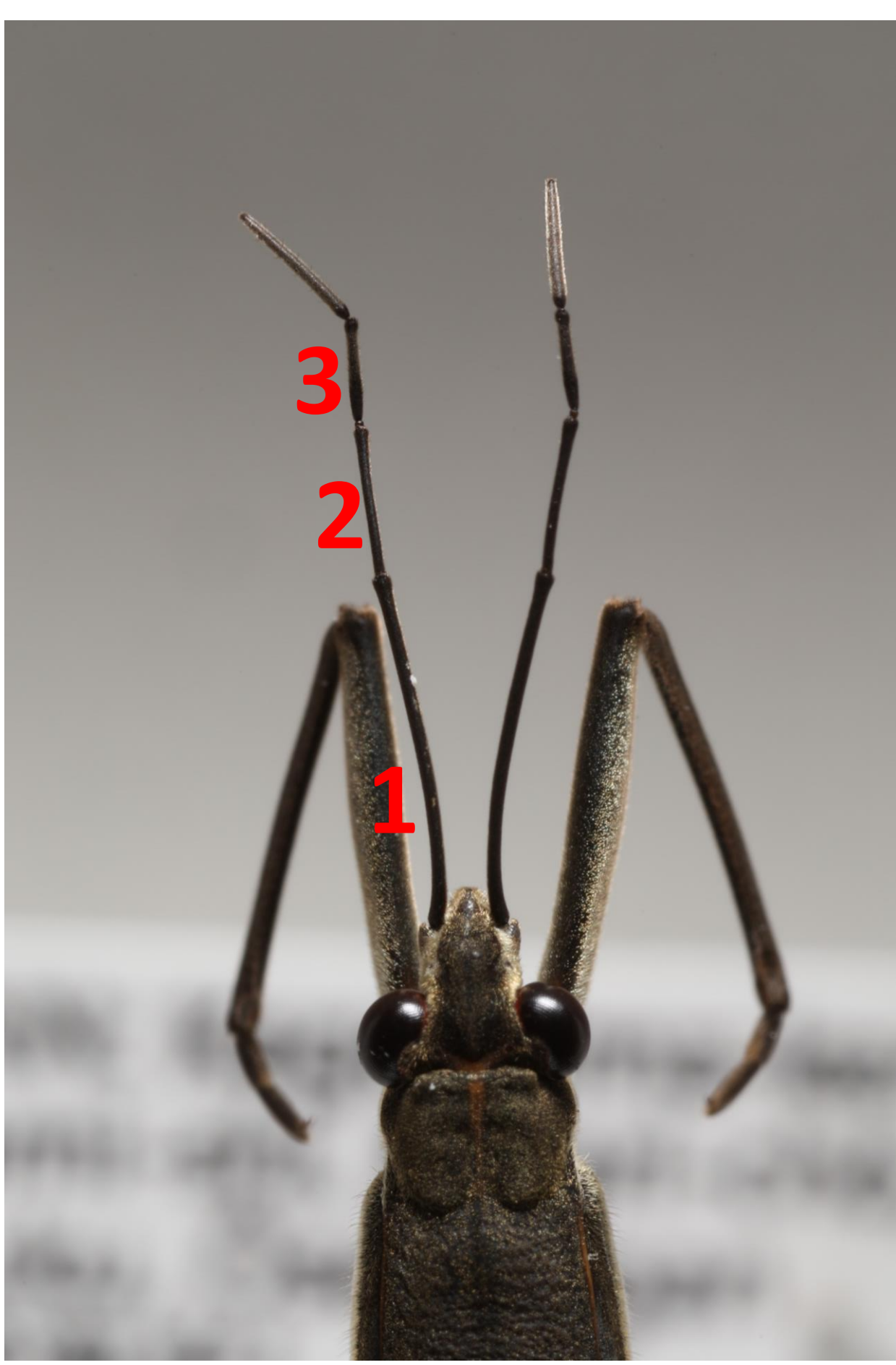


STEP2 属を決定する

アメンボ亜科で本州で採集できる属は以下の通りです。

- セアカアメンボ属 *Limnoporus*
- アメンボ属 *Aquarius*
- ヒメアメンボ属 *Gerris*

今回の同定の対象は中島ら（2020）によると体の両側が平行ではないこと、体側の銀白色が目立たないことからセアカアメンボ属ではなさそうです。中谷（2001）を参考に触角をみて、アメンボ属かヒメアメンボ属かを決定しましょう。



ヒメアメンボ属（今回の同定対象） アメンボ属 （参考）セアカアメンボ属

どうやら本種は触角の長さが体長の半分以下且つ、触角第2節と第3節を合わせた長さが第1節より長いようなので、**ヒメアメンボ属 *Gerris*** のようです。属までは決定することができました。

昆虫を同定してみよう

アメンボ編

STEP3 亜属を決定する

国産ヒメアメンボ属 *Gerris* には *Gerris(Gerris)* と *Gerris(Macrogerris)* の二つの亜属があり、特徴が異なります。種同定の前に亜属まで決められれば、種同定が楽になります。ここでも中谷（2001）を参考に前脚腿節の色を見ていきましょう。



Gerris(gerris)



Gerris(macrogerris)
今回の同定対象

前脚腿節が一樣に黄褐色のようです。このことから、*Gerris(Macrogerris)* であることがわかりました。ここまですれば、3種に絞られます。

STEP4 種を決定する

本亜属から知られる国産既知種は以下の通りです。

- コセアカアメンボ *Gerris gracilicornis*
- ヤスマツアメンボ *Gerris insularis*
- エゾコセアカアメンボ *Gerris yezoensis*

なお、エゾコセアカアメンボは本州では高標高地からのみ知られます。そのため今回は候補から除外してよいでしょう。最後は中島ら（2020）を参考に採集個体がオスであることを祈って腹端を観察してみましょう。



今回の同定対象



（参考）コセアカアメンボ

幸いなことにオスのようです。第七腹板に黒い斑があることから、本種は**ヤスマツアメンボ** *Gerris insularis* であることがわかりました！同定にはある程度慣れが必要ですが、慣れれば属まで一目見て決定することも容易です。

同定に使用した文献

中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. ネイチャーガイド日本の水生昆虫：338-340.

文一総合出版, 東京.

中谷憲一. 日本産陸水生アメンボの絵解き検索. 環動昆, 2001, 12(4), 155-161.

(online), https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjeez/12/3/12_155/_pdf/-char/ja, (参照 2021-10-01)